



令和8年9月発行

みらいの周南っこを考える学生ワークショップ

みらいの周南について考えちよる

Vol.3

ワークショップの目的

周南市では、**市民館跡地エリア**に、国の施設や銀行のほか、文化小ホールや保健センター、子育て支援機能、こどもの居場所機能が入る公共施設の整備を検討しています。

市民館跡地エリアは、**皆さんの日常に寄り添う、新しいまちのシンボル**となることを目指しています。

市民館跡地エリアがみらいの周南っこにとっての**居場所となり、「成長」を支える場**となるために必要な環境や過ごし方について、全4回のワークショップで学生の皆さんと一緒に考えていきます。



第3・4回ワークショップについて

令和8年8月8日(土)、22(土)に第3・4回学生ワークショップを開催し、第3回は総勢29名、最終回となる第4日も総勢24名の方に参加いただきました。

「**市民館跡地エリアでやってみたいことを考えよう**」をテーマに、第3回では、未来の周南で育つこどもの「成長」につながる具体的なイベントや活動のアイデアを出し合いました。第4回では、そのアイデアを企画書としてまとめ、企画書に込めた思いを発表しました。最後に、**市長から一つひとつの企画に対し講評いただき、学生たちの「やってみたい！」を大人に届ける機会**となりました。

第3回で出たアイデアは、市民祭・文化祭といったフェスティバルイベントや、コンビナート企業など地域と協力した職業体験会、マルシェなどの**単発イベントもあれば**、夏休み宿題お助け隊といったこどもの居場所を中心に勉強の教え合い・好きな遊びができる場や、地域と関わる組織、趣味の活動が自由にできたり発表できたりする機会など、**継続的な活動のアイデアもありました**。

第4回でアイデアを深め、7つの企画書が生まれました。活動の成果発表・教え合いの場を定期的に設け、**活動の発展に繋げる**ことを目的とした企画では、参加者への特典など続けやすい仕組みまで考えられていました。こどもが主体となって運営するフェスティバルイベントや、既存のイベントへのこどもの派遣など、**世代を超えた交流や文化の継承に繋げよう**という企画では、「周南市全体を盛り上げよう」というまなざしも感じられました。**こどもの自主性を育む**企画では、施設にきたこどもの行動の流れまで想定されていました。

企画書づくりにあたり、「市民館跡地エリアだからこそできることは？どうすれば実現できる？」まで考えたことで、これまでのワークショップで思い描いてきた**「未来のこどもにとってこんな場所になったらいい」というイメージをより具体的な形に**することができました。

全4回のワークショップを通じていただいた想いを大切に、市民館跡地エリアが未来の周南市を担うこどもたちの可能性を広げるエリアとなるよう、引き続き検討を進めてまいります。

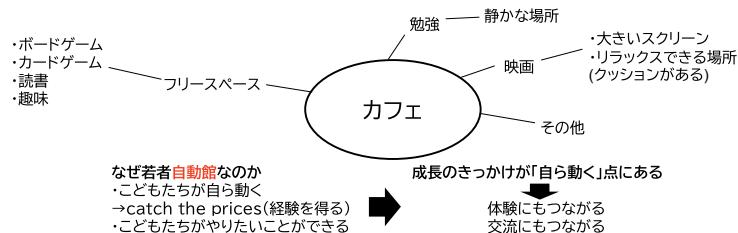


若者自動館

企画の目的

この企画は、こどもの成長に必要な
出会い・交流 / 体験 / 挑戦 / 安心・居場所につながります。
こどもたちが自由にやりたいことをできる場所
そこから、地域の人との交流を生み出す

企画の区画・アピールポイント



【ターゲット層】こども(こどもの親・地域の人) 【開催時期・回数】常時 【実施場所】エントランスホール付近
【集客・PR方法】学校でチラシ配り、広報しゅうなん、インスタ

実現するために必要なこと

【中心となって企画を進めていくメンバー】市民館跡地エリアの運営者
【協力してほしいひと・団体】地域の人に来てくれたらうれしい
【必要な道具・設備・場所など】スクリーン・机



参加者の声

企画書づくりに利用頻度や
利用する人の行動なども考え、様々なことが絡み
あって成立していくものだなと思いました。
難しかったけれど、みんなと考えていく時間は
とても楽しかったです。

市長さんからの感想を、発表聞きたては
状態です。発表聞きたては、市長さんからの感想を、発表聞きたては

企画書づくりは今まで
と違って難しかったが何とか埋めることができて、
「楽しみながら成長することができる」という企画
が出来たのではと思う！

最終回だったがやりがいとても感じた。
自分たちのアイデアが役に立ててくれたら嬉しい。
市民館跡地エリアがどう変わってくれるか楽しみ。

参加のお礼

本ワークショップは全日程を終了しました。
ワークショップにご参加くださったみなさま、
そしてこのニュースレターをお手に取ってくださったみなさま、
本当にありがとうございました！
学生らしい自由な発想のもと、周南市のこどもの未来と一緒に描く
ことができ、とても有意義なワークショップとなりました。
今後も検討の進捗については、市のウェブサイトなどでお知らせして
まいりますので、引き続き本事業にご注目くださいませ！

お問い合わせ先

〒745-8655

周南市岐山通1丁目1番地

周南市 企画部 市民館跡地活用推進室

TEL : 0834-22-8224



HACKTSU		THE寺子屋	
企画の目的・ねらい	この企画は、こどもの成長に必要な ＜出会い・交流・体験・挑戦＞ 安心・居場所>につながります。 趣味を探している人、今やっていることに共感・意見が欲しい人が 発表や展示を通して、新しい趣味の発見や既存の趣味を発展させる	企画の目的・ねらい	この企画は、こどもの成長に必要な ＜出会い・交流・体験・挑戦＞ 安心・居場所>につながります。 世代関係なく教え合える空間 勉強に限らず自分の得意な事や趣味なども
企画の内容・アピールポイント	・作品の展示 発表 →評価(施設に来た人に) ・特技の発表 →評価 【必要なる事】 ・人の募集 ・SNS ・チラシ ↓ ・教室の紹介 ・交流会を立ち上げる 【こどもの関わり方】お客さん / 出演者・講師 / 企画・運営 【ターゲット層】年代問わず(趣味を探している人) 【開催時期・回数】月2回 土日 【実施場所】ステージ、展示スペース	企画の内容・アピールポイント	毎日開放されていて自由に教え合える 土日は趣味や自分の得意な事 平日は勉強をメイン 【平日】 10:30 ~ 講師の方に来てもらい、不登校の子に勉強支援 15:00 ~ 学生同士の教え合い 19:00 ~ 受験テスト対策(大学生、高専生などが講師) 22:00 【こどもの関わり方】お客さん / 出演者 / 講師 / 企画・運営 【ターゲット層】学生中心 【開催時期・回数】常時開放 【実施場所】フリースペース、 コワーキングスペース(たたみ、広い所、仕切り、カウンター) 【集客・PR方法】学校にポスター配布、インスタなど
実現するのに必要なひと・もの	【中心となって企画を進めていくメンバー】施設側の運営者→参加者の人も 【協力してほしいひと・団体】名のある有名な人がたまに来たくれる、市内の 教室、スタジオ 【必要な道具・設備・場所など】展示スペース、屋外ステージ(ダンスとか)、 皆の拍手	実現するのに必要なひと・もの	【中心となって企画を進めていくメンバー】小学生～大学生の学生、地域ボランティア 【協力してほしいひと・団体】地域の大人、運営の人 【必要な道具・設備・場所など】会議室、ホール、スクリーン、楽器



Shining Children	
企画の目的・ねらい	この企画は、こどもの成長に必要な ＜出会い・交流 / 体験 / 挑戦＞ 安心・居場所>につながります。 周南市には数多くの文化やイベントがありますが、後継者問題があります。 これを解決するために、こどもたちが周南市の文化やイベントに関わることで興味や関心を持ってもらい、周南市のことを好きになってもらいます。 その結果、文化やイベントの継承に加え、周南市への定住の増加につなげていく事が目的です。
企画の内容・アピールポイント	組織体制 周南市内の小・中・高・大学生 スケジュール例 4月 大道理芝桜まつり 5月 まんどころ来てみん祭り 6月 ホタル祭り 7月 徳山夏祭り 8月 サンフェスタしんなんよう 10月 かのるさとまつり 12月 スターライト夜市 その他 各地区の祭り、イベント(夏祭り・敬老会など) 実施内容 既に学校単位でイベント参加があるが、これを市内の学校に共有 受付、ブースの出展、設営などこれまで関わってきた学生もいるが、主体的に企画・運営にも関わり継続的に参加していくことができるようにする。 市民館跡地エリアの活用については、定例会や活動共有、事前準備などの場として活用する。 【こどもの関わり方】お客さん / 出演者・講師 / 企画・運営 【ターゲット層】祭りの参加者 【開催時期・回数】年中 【実施場所】各地域 【集客・PR方法】チラシを学校で配布
実現するのに必要なひと・もの	【中心となって企画を進めていくメンバー】企画の内容のとおり 【協力してほしいひと・団体】地域とつながりのある人 【必要な道具・設備・場所など】移動手段の確保と交通費



自分づくりの場	
企画の目的・ねらい	この企画は、こどもの成長に必要な ＜出会い・交流 / 体験・挑戦＞ 安心・居場所>につながります。 趣味を通して仲間と共に努力挑戦をして自己成長につなげる。 共通の趣味からつくられた出会いや深めた関係によって安心できる居場所となる。
企画の内容・アピールポイント	ダンススタジオや防音室などを自由に気軽に趣味を練習できる場所として用意する。 例)スタジオ、防音室、ホール、教室、キッチン、ボールドリリング、体育館、創作スペース ☆例えば... ○防音室 ・楽器を用意して練習の場に(持ち込み可) ・バンドの練習 ○キッチン ・親子で料理できる ・食材を持ち込んで料理できる ・圧力鍋やオーブンなどの家ではなかなか用意し辛いもの ↓ 披露できる場所へ ・発表会、コンテストなど(ホールなど) ・自分たちでイベント企画も ・決まった日に定期的にイベント 【こどもの関わり方】お客さん / 出演者・講師 / 企画・運営 【ターゲット層】地域の人々 【開催時期・回数】いつでも 【実施場所】それぞれに適した場所 【集客・PR方法】ポスター、チラシ、ネット、周南のライン
実現するのに必要なひと・もの	【中心となって企画を進めていくメンバー】小学生～大学生の学生、地域ボランティア 【協力してほしいひと・団体】地域の大人、運営の人 【必要な道具・設備・場所など】会議室、ホール、スクリーン、楽器



高校合同フェスティバル	
企画の目的・ねらい	この企画は、こどもの成長に必要な ＜出会い・交流 / 体験・挑戦＞ 安心・居場所>につながります。 ・自分たちで企画する→ 企画力が身につく ・交流が増える→ 新しい自分に会える、視野が広がる 楽しめる
企画の内容・アピールポイント	〈高校合同文化祭〉 周南市の高校生が企画、運営し合同文化祭を行う ○具体的な内容 ・ミスコンとミスターコン ・文化部の作品展示 ・ファッションショー ・ステージ発表 ・部活動紹介 ・芸能人を呼ぶ ・食品パザー ・ものづくり体験会 〈高校合同体育祭〉 周南市の高校が対抗で合同体育祭を行う ○具体的な内容 ・応援合戦 ・部活動別バトル ・選抜リレー ・騎馬戦 ・借り物競争 ・高校別先生ファッションリレー それぞれで総合優勝を決める 【こどもの関わり方】お客さん / 出演者 / 講師 / 企画・運営 【ターゲット層】高校生 【開催時期・回数】各1回(夏・秋) 【実施場所】ホール、競技場 【集客・PR方法】 SNS(インスタ)
実現するのに必要なひと・もの	【中心となって企画を進めていくメンバー】高校生 【協力してほしいひと・団体】場所管理している方 【必要な道具・設備・場所など】体育祭で使用する道具

シーズンフェスティバル	
企画の目的・ねらい	この企画は、こどもの成長に必要な ＜出会い・交流 / 体験・挑戦＞ 安心・居場所>につながります。 イベント事に様々な年代の人が企画する 交流が増えて1年間幸せオーラがあふれる
企画の内容・アピールポイント	時期に合わせて様々なイベントを開催する 企画・運営は幅広い年代の人が行う ○具体的な内容 カレンダーにある地味な祝日を盛大にする 例)昭和の日 →昭和時代を知るイベント 昭和の服を着たり歴史を学ぶ 山の日 →登山イベント 様々な分野のイベントを開催する 犬、猫の譲渡会 ファッションショー ものづくり体験会 職業インタビューツアー こども祭 世代別ミスコン・ミスターコン 年に何回か行う 全世代が参加可能 【こどもの関わり方】お客さん / 出演者 / 講師 / 企画・運営 【ターゲット層】全世代 【開催時期・回数】オールシーズン・不定期 【実施場所】様々な場所 【集客・PR方法】SNS・ポスター
実現するのに必要なひと・もの	【中心となって企画を進めていくメンバー】全世代 【協力してほしいひと・団体】実施イベントの関係者